



## 情報セキュリティ

# 偽情報に騙されないために

### 【研修について】

- ・ 本研修の目安時間は、15分間です。
- ・ 講師の指示に従って、本資料を読み進めてください。  
(勝手に本資料を読み進めないでください。)

### 【本研修の目的】

- ・ 隣の人や、後ろの人と**意見交換をしながら**、学ぶことを目的としています。積極的に発言しましょう。

### 偽情報とは

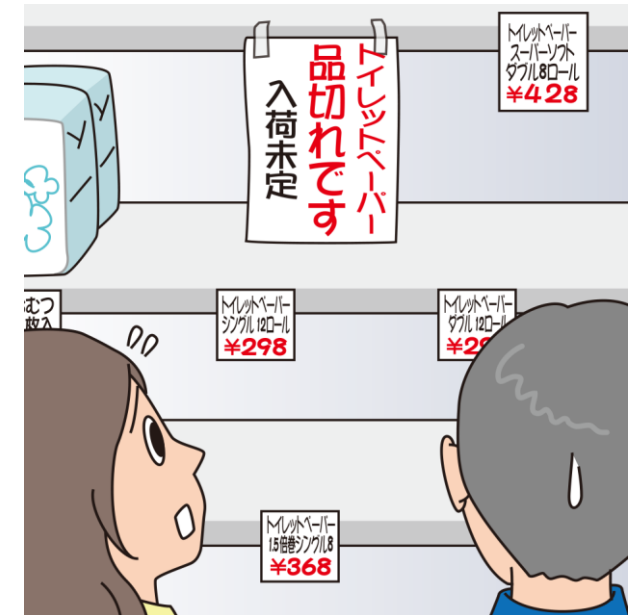
何らかの利益を得ることや意図的に騙すことを目的とした情報。「フェイクニュース」ともいわれるが、これは様々な意味で使用され、誤情報、噂話、デマなども含まれる。

参考：[「ネットの時代におけるデマやフェイクニュース等の不確かな情報」\(総務省webページ\)](#)

# 偽情報を信じてしまうと…

## 【偽情報とその影響の例】

- 新型コロナウイルスが流行し始めた頃、トイレットペーパーが品薄になるという偽情報が広まりました。メーカーはこれを否定しましたが、不安に駆られた人々が買い占めに走り、一時的に店頭から在庫がなくなっていました。
- あおり運転事件の犯人として、SNSである人物の実名がさらされ、これを信じた人によって拡散。その人物は、事件には無関係でしたが、多くの誹謗中傷にさらされました。

**Q1**

これらは一例に過ぎず、他にも多くの偽情報が流れています。偽情報が流れると社会生活はどうなっていくのでしょうか？

A

1

## 社会生活に次のような影響があります。

信頼関係が築きづらくなる、他人を攻撃してしまう

ルールが守られなくなる

自分の身を守るために利己的になる



何が本当のことなのかわからなくなり、混乱する

商品の買い占めや、転売が発生する

安心して生活できない



社会に、互いの信頼関係や秩序があることで、我々は安心して生活できます。偽情報に踊らされて、信頼や秩序を損なえば、社会生活が成り立たなくなってしまうおそれがあります。そのため、偽情報を安易に信じてしまわないよう、慎重に情報に接しなければなりません。

## ■偽情報に関する状況

海外では偽情報が政治に大きな影響を与えた可能性があるとして、社会問題になっています。

- ・ アメリカ: 米国大統領選挙の際、候補者の一人を貶める目的で、偽情報が発信・拡散され、大統領選挙の結果に影響があったといわれている(2016年)
- ・ イギリス: EUからの離脱を問う国民投票に対して、偽情報が影響を与えたといわれている(2016年)

参考:「プラットフォームサービスに関する研究会 最終報告書の概要(フェイクニュースや偽情報への対応関係)」総務省webページ



SNSで流れる混乱を招く情報には、偽情報、誤情報、デマの他に、複雑な事情を邪悪な人物による陰謀だと単純化して説明する「陰謀論」もあり、社会問題化しています。

これらは社会的な影響の他に、個人への影響もあります。例えば、偽情報を信じて行動すると、モラルに反した行動をとっていると周囲に思われることから、当人が社会的な生活を送れず、孤立してしまうことがあります。

偽情報に騙されないために

Q2

**偽情報に騙されないためには  
どうしたらいいのでしょうか？**

A

2

## 偽情報などを信じないための対策には、次のようなものがあります。

- ✓ 情報をそのまま信じるのではなく、自分でも調べてみましょう。複数の情報源、意見を確認することが重要です
- ✓ 生命・金銭に関わる情報は、冷静さを失いがちなことを自覚して対処しましょう
- ✓ 情報源が信頼できるかどうかを判断しましょう。ねつ造、憶測であることも少なくありません。一方、官公庁や大手の報道機関などが情報源であれば信頼性が高い情報といえます
- ✓ 正確性・論理性を判断しましょう。一部が合っていることで説得力があるように見えても、実際は大部分が誤り、といったケースも少なくありません
- ✓ SNSだけでなく、周囲の人の話、意見を聞いてみましょう
- ✓ 理解したつもりになると、判断を誤ります。  
理解できないことは割り切って、その情報から目を離すことも大切です

# 偽情報を信じてしまうのは何故？

偽情報は次のような方法で、人の心情を刺激し、興味を惹いたり信じさせたりします。このようなことで心を動かされたら、注意しましょう。

## 不安感を煽る

不安なときには、「不安でいてもいい」という情報を欲する心理が生じます。そのため、不安感を煽る情報を信じやすくなります。また、財産や生命に危険が及ぶという情報も、危険を回避したい心理から信じやすくなります。

## 好奇心に刺激を与える

「芸能人の〇〇が罪を犯した」といった偽情報は読んだ人は損も得もありませんが、「こうであったら面白い」といった好奇心を刺激され、信じてしまうことがあります。

## 安心感を得させる

「不安感を煽る」とは逆に、安心感が得られる情報も信じてしまいやすい面があります。自分が欲しい情報を信じる心理があるためです。

## 報道機関が報じないことを伝える

報道機関に対して不信感を持っている人には、報道機関が報じない偽情報であること自体が、それを信じる理由になり得ます。

## 物事を単純化する

理解しづらい複雑な事柄を単純化することで、理解できていなかった人を騙そうとするものです。単純化されることで、受け入れられやすくなります。また、情報が誤っていても元々が複雑な事柄のため、誤りを見抜かれにくいのです。

## ■注意すべき情報・表現

- **断定・強調表現、不安を煽る表現や急がせる表現が多い**  
⇒これらの表現は強く印象に残ってしまい、心理的な影響を受けやすいため注意が必要です
- **生命や金銭に関わる情報**  
⇒多くの人が切実に欲する情報であるため、心を動かされやすいものです  
慎重に判断しなくてはなりません
- **情報源が記載されていない、実在しない、伝聞である**  
⇒不確かな情報です
- **専門家ではない人が、専門的な分野についての話をしている**  
⇒専門家ではない人や、別の分野の専門家が科学、医学、災害など専門性の高い分野についてそれらしく話している場合は、もっともらしくても、正誤の判断が難しいため注意が必要です

参考:「疑わしい情報に惑わされないために」

警視庁webページ



## ■まとめ

- ・ 偽情報は社会問題になりつつある。情報に接する際は偽情報の可能性があることを念頭に置くこと
- ・ 不安感を煽る情報、生命・金銭に関する情報など、心理に訴えかけるものには、特に警戒をすること
- ・ 情報の真偽が疑わしい場合、自分で調べる、冷静に対処する、情報源を確かめる、論理性を検証するなど、騙されないための行動を自らとることが重要

多くの人は「自分は騙されない」と考えていますが、  
偽情報は社会問題になりつつあります。  
その危険性を認識しましょう。

偽情報に騙されないために

**会社と働く人たち、その家族を守るのは  
あなたのコンプライアンス行動です。**

**お疲れ様でした。**